

令和3年度事業報告

自令和3年4月1日 至令和4年3月31日

令和3年度は前年度から引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により人の集まりや移動が制限される中、通常総会は電磁的手法(電子メール)による審議、議決で実施されご承認いただきました。各企業においてはテレワークや時差出勤、WEB 会議による働き方改革が進みました。当協会も各事業委員会を WEB 会議で実施し企画立案、事業実行を進めました。当協会活動の基幹となる会報については当初の予定通り4回発行致しました。

各種事業についてオンラインを志向しオンラインに適した開催方法を検討しました。従来の研究例会と食品包装技術セミナーは2演題で年に4回開催していましたが食品包装セミナーとして統合し1演題で年8回のオンライン開催としました。前年度から既にオンライン開催としている人材育成研修(初級)は10月に開催しました。両事業とも計画を上回る方に参加して頂きました。第4回 NextPackage は出展社によるオンラインセミナー開催、出展社別のWEB会議室設置、訪問者履歴の把握などコミュニケーションを広げるための改善を行い11月にWEB展示会として開催しました。目標は20社出展でしたが14社に留まりました。さらに魅力のある展示会に向けて協会一丸となり取り組みます。

当協会の主要事業である食品包装シンポジウムは開催に向けて検討しましたが止む無く延期としました。同様に勉強会も延期としました。また人材育成研修(中級)は次年度に新たな事業に展開するため中止としました。次年度には食品包装シンポジウム、勉強会の開催を必達事項とし、さらには見学会、食品包装検定の復活開催を目指します。

会費収入、事業収入、その他収入を合わせた協会の総収入は予算12,257千円に対し実績は12,752千円と増加しました。管理費支出と事業費支出を合わせた総支出は予算10,750千円に対し実績10,089千円と減少し、その結果事業利益は予算1,507千円に対して実績2,663千円と増加しました。今後も会員サービスの強化、経費節減と効果的な費用投入、収益の安定化に努めて参ります。

コロナ禍によって新しい生活様式への変化が進んだと言われていています。新しい生活様式への対応、食品ロス、環境問題、資源問題、食品安全などの継続的課題の解決に向けて食品包装に関する情報発信や技術支援、食品包装人材の育成を実施し会員の皆様、包装業界、社会と生活者の皆様へより一層の貢献をしたいと考えております。会員の皆様方にはこれまでと変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年度事業実施詳細

登録会員数移動状況

正会員(団体)

令和3年4月1日 97社

令和4年3月31日 99社[新規入会3社][退会1社]

賛助会員

令和3年4月1日 9社

令和4年3月31日 9社[新規入会0社][退会0社]

正会員(個人)

令和3年4月1日 11名

令和4年3月31日 13名[新規入会2名][退会0名]

名誉会員

令和2年4月1日 8名

令和3年3月31日 9名

会員数 108社 22人

会員総数 130社・人

令和3年度実施した諸事業、委員会の状況

定時社員総会

1回(電磁的手法による審議・議決)

包装界合同新年会

*コロナ禍により中止

通常理事会

2回(電磁的手法による審議・議決)

諸事業

- ・会報“食包協”ホームページ掲載 4回(会報170号、171号、172号、173号発刊)
- ・食品包装人材育成研修【初級・3日間】1回(10/6、10/13、10/20に実施)
- ・食品包装セミナー 8回(6/22、7/21、8/25、9/22、12/22、1/26、2/22、3/23実施)
※令和3年度より、技術セミナーと研究例会を統合し「食品包装セミナー」とした。
- ・第4回Next Package2021展示会 1回(11/18~19の2日間Web形式にて開催)
- ・第54回食品包装シンポジウム *コロナ禍により中止措置
- ・食品包装人材育成研修【中級】 *コロナ禍により中止措置
- ・勉強会 *コロナ禍により中止措置

委員会状況

- ・運営委員会 6回(Web形式による)
- ・各委員会 延べ25回(Web形式による企画・立案)

令和3年度 事業活動報告

令和3年度第一回通常理事会

令和3年度運営方針、令和3年度事業計画・収支予算(案)につき電磁的手法による議決(令和3年4月20日～24日)により、全会一致で承認。

令和3年度定時社員総会

令和3年5月26日～6月1日(電磁的手法による議決・承認;正会員108名,内,ご答58名,委任50名 計108名)

- ・第1号議案 令和2年度事業報告および収支報告承認の件:全会一致にて可決
- ・第2号議案 令和3年度運営方針、事業計画及び収支予算(案)審議の件:全会一致にて可決
- ・第3号議案 令和3年度役員改選・各委員会委員一部改選に関する件:全会一致にて可決
- ・第4号議案 報告事項(定時社員総会開催に関する件、食品包装学校開設の件):全会一致で承認

令和3年度第二回通常理事会

令和3年度事業計画・活動状況及び年度収益見込みについて電磁的手法による議決(令和4年1月14日～20日):全会一致で承認。

実施された事業活動状況

◆会報

4月170号、7月171号、10月172号、新年号1月173号は予定通り発刊されました。

・会報170号(2021年4月発刊)

①「アンケートに見る『食品と包装』の環境関連の動向」

一般社団法人 日本食品包装協会 理事長

石谷 孝佑 氏

②「新・包装関連研究『海外の動き』第7回」

国際食品科学工学連盟 科学円卓会議 「持続可能な食品包装」参加報告
(国研)農研機構 食品研究部門 食品流通・安全研究領域

流通技術・新用途開発グループ 研究員

松元 咲樹 氏

③「耐衝撃レトルト用 CPP フィルムの展開」

東レフィルム加工株式会社 フェロー

フィルム包装材料技術部 部長

松浦 洋一 氏

・会報171号(2021年7月発刊)

①「内容物が減っても倒れないボトル代替フィルム包材」

共同印刷株式会社 技術開発本部 環境技術開発部

中川 みなみ 氏

- ②「“ごみ”を“エタノール”に変換する技術を用いた資源循環社会の実現について」
積水化学工業株式会社 新事業開発部 BR グループ 加納 正史 氏
- ③「片手の指先だけで開封できるチャック付パッケージ」
大日本印刷株式会社 包装事業部 篠原 貴之 氏
- ④「機能性紙素材の開発と『紙化』における課題」
日本製紙株式会社 白板・包装用紙営業部
シールドプラス事業推進室 内村 元一 氏
- ・会報 172 号(2021 年 10 月発刊)
- ①「持続可能な社会における容器包装材の使い方」
早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構ナノプロセス研究所 加茂 徹 氏
- ②「酸素バリア性コーティング剤『エコステージ GB』について」
サカタインクス株式会社 研究開発本部 開発企画部 久下沼 梨沙 氏
- ③「海洋プラスチック問題、最近の動向を概観」
株式会社旭リサーチセンター 主席研究員 長谷川 雅史 氏
- ④「新・包装関連研究「海外の動き」第8回」
The 30th IAPRI Member Conference 2021 Virtual 参加報告
農研機構 食品研究部門 食品流通・安全研究領域流
通技術・新用途開発グループ 上級研究員 北澤 裕明 氏
- ・会報 173 号(2022 年 1 月発刊)
- <広告>2022 年度第1期食品包装学校 5 月開校のご案内(パスワード無)
- 一般社団法人日本食品包装協会 事務局
- ①「2022 年年始のご挨拶と新規事業のご紹介」
一般社団法人日本食品包装協会 理事長 石谷 孝佑 氏
- ②「持続可能な社会と容器包装 減装ショッピング SDGsとしての意義について」
特定非営利活動法人ごみじゃぱん 小島 理沙 氏
- ③「石灰石を主原料にプラスチックや紙を代替える、
再生利用が可能な LIMEX について」
株式会社 TBM コーポレーション・コミュニケーション本部 菊田 譲 氏
- ④「輸送包装コミュニティにおける最近の取り組み」
神栄テクノロジー株式会社 計測・試験機器事業部 川口 和晃 氏
- ⑤「第4回 Next Package2021 Web 展示会を振り返って」
第4回Next Package 実行委員 凸版印刷株式会社 大日方 野枝 氏
- ◆**人材育成研修初級講座** (予算 35 名、受講者 56 名)予定通り実施されました。
開催日時:令和3年 10 月 6 日(水)・10 月 13 日(水)・10 月 20 日(火)の3日間
場 所:オンライン開催『Zoom Pro』でのライブ配信)

内 容:講師9名による食品包装関連初級講座

◆食品包装セミナー(予算 320 名、受講者 327 名)年8回実施されました。

- ・第1回食品包装セミナー: 2021年 6月22日実施
講演名:『地球環境問題・脱炭素と食品産業・包装』
講演者:一般社団法人 理事長 石谷 孝佑 氏
- ・第2回食品包装セミナー: 2021年 7月21日実施
講演名:『植物由来の透明な紙「セルロースフィルム」の
環境適性と包装材への新たな展開』
講演者:フタムラ化学株式会社 中部統括 開発グループリーダー花市 岳 氏
- ・第3回食品包装セミナー: 2021年 8月25日実施
講演名:『東洋インキ(株)の抗菌ニス製品のご紹介』
講演者:東洋インキ株式会社 マーケティング本部 藤倉 隆志 氏
- ・第4回食品包装セミナー: 2021年 9月22日実施
講演名:『食品包装における「包装完全性評価」と「漏れ試験基準」について』
講演者:株式会社フクダ 取締役 医薬品包装等プロジェクト統括樋口 泰彦 氏
- ・第5回食品包装セミナー: 2021年 12月22日実施
講演名:『食品包装関連製品のご紹介～ガスバリア性接着剤「マクシーブ®」
について』
講演者:三菱ガス化学株式会社 基礎化学品事業部門
ハイパフォーマンスプロダクツ事業部ポリマー材料グループ営業 武笠 和明 氏
三菱ガス化学株式会社 平塚研究所 材料開発 小林 菜穂子 氏
- ・第6回食品包装セミナー: 2022年 1月26日実施
講演名:『プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について』
講演者:経済産業省 産業技術環境局
資源循環経済課 課長補佐(統括) 吉川 泰弘 氏
- ・第7回食品包装セミナー: 2022年 2月22日実施
講演名:『環境対応オフセット印刷「エコラスター」について』
講演者:凸版印刷株式会社 生活・産業事業本部 部長 森川 博史 氏
- ・第8回食品包装セミナー: 2022年 3月23日実施
講演名:『新型コロナウイルスの食品製造業における感染対策』
講演者:国立感染症研究所 実地疫学研究センター主任研究官 八幡 裕一郎 氏

◆第4回 NextPackage2021(Web 展示会)が実施されました。

日 時:2021年 11月 18日(木)～19日(金) 2日間(10時～17時)

場 所:日本食品包装協会ホームページ(HP)

展示会テーマ：『～人と技術の交流が未来を包む～』

講演：(一社)日本食品包装協会 石谷理事長による講演が YouTube 動画にて配信
されました。

テーマ：『環境にやさしい包装から見る IPCC6 次報告と COP26 を巡る課題』

* 出展頂いた企業 14 社

1. 出光興産(株)、2. インパック(株)、3. 押尾産業(株)、4. (株)クラウン・パッケ 5. SAES Coated Films S.P.A、6. 四国化工機(株)、7. 東洋インキ(株)、8. 東洋製罐グループホールディングス(株)、9. 日本トーカンパッケージ(株)、10. (株)フクダ、11. 藤森工業(株)、12. 三笠産業(株)、13. 三井化学(株)、14. (株)悠久

※今回は展示会に参加頂いた方々(約 260 名)に個人情報収集に関して同意を頂いた上
氏名、所属、興味のある分野等の情報を事前等登録頂き、出展企業様にアクセスした
場合、履歴が残る仕組みとし、展示会終了後、出展企業ごとにこの情報を提供致しま
した。また、出展企業によるオンラインセミナーの実施(参加7社)とブレイクアウトルーム
の設定により出展企業様と参加者がコミュニケーションできる場を用意致しました。

実施されなかった事業

- 食品包装人材育成研修会(中級)・・・令和4年度食品包装学校開設の為廃止。
- 第 54 回食品包装シンポジウム(令和4年度へ継続)
- 勉強会(令和4年度へ継続)